



$A = \begin{pmatrix} 3 & -2 \\ -2 & 3 \end{pmatrix}$  とし,  $B$  を  $AB = BA$  を満たす 2 行 2 列の行列とする.  $B$  で定まる 1 次変換  $f$  で

平面上の点  $P(1, 1)$  が  $P$  と異なる点  $Q(t, t^3)$  にうつされるとする. 次の間に答えよ.

(1)  $t$  を求めよ.

(2)  $f$  によって動かない平面上の点の集合が直線するとき,  $B$  を求めよ.



(1)  $B = \begin{pmatrix} a & b \\ c & d \end{pmatrix}$  とおくと  $AB = BA$  より

$$\begin{pmatrix} 3 & -2 \\ -2 & 3 \end{pmatrix} \begin{pmatrix} a & b \\ c & d \end{pmatrix} = \begin{pmatrix} a & b \\ c & d \end{pmatrix} \begin{pmatrix} 3 & -2 \\ -2 & 3 \end{pmatrix}$$

$$\begin{pmatrix} 3a-2c & 3b-2d \\ -2a+3c & -2b+3d \end{pmatrix} = \begin{pmatrix} 3a-2b & -2a+3b \\ 3c-2d & -2c+3d \end{pmatrix}$$

$$\text{成分を比較して} \begin{cases} 3a-2c = 3a-2b \\ 3b-2d = -2a+3b \\ -2a+3c = 3c-2d \\ -2b+3d = -2c+3d \end{cases}$$

これより  $b=c, a=d$  を得る.

よって  $B = \begin{pmatrix} a & b \\ b & a \end{pmatrix}$  とおくと  $\begin{pmatrix} a & b \\ b & a \end{pmatrix} \begin{pmatrix} 1 \\ 1 \end{pmatrix} = \begin{pmatrix} t \\ t^3 \end{pmatrix}$  より  $a+b=t$  かつ  $b+a=t^3$

$t=t^3$  より  $t(t+1)(t-1)=0$  よって  $t=0, \pm 1$

$P, Q$  は異なる点なので,  $t=0, -1$  である.

(2) (i)  $t=0$  のとき

$a+b=0$  であるから  $b=-a$

$B$  で定まる 1 次変換  $f$  の不動点を  $(x, y)$  とすると

$$\begin{pmatrix} a & -a \\ -a & a \end{pmatrix} \begin{pmatrix} x \\ y \end{pmatrix} = \begin{pmatrix} x \\ y \end{pmatrix}$$

これより  $ax-ay=x$  かつ  $-ax+ay=y \cdots \textcircled{1}$

辺々加えて  $x+y=0$  より  $y=-x$ , これと  $\textcircled{1}$  より  $(2a-1)x=0$

$a \neq \frac{1}{2}$  のときは  $x=0, y=0$  となり,  $f$  の不動点の集合は 1 点  $(0, 0)$  になる.

$a = \frac{1}{2}$  のときは  $y = -x$  となり,  $f$  の不動点の集合は, 直線  $y = -x$  になる。

(ii)  $t = -1$  のとき

$$a + b = -1 \text{ であるから } b = -a - 1$$

$B$  で定まる 1 次変換  $f$  の不動点を  $(x, y)$  とすると

$$\begin{pmatrix} a & -a-1 \\ -a-1 & a \end{pmatrix} \begin{pmatrix} x \\ y \end{pmatrix} = \begin{pmatrix} x \\ y \end{pmatrix}$$

$$\text{これより } ax - (a+1)y = x \text{ かつ } -(a+1)x + ay = y \cdots \textcircled{2}$$

$$\text{辺々加えて } x + y = 0 \text{ より } y = -x, \text{ これと } \textcircled{2} \text{ より } 2ax = 0$$

$a \neq 0$  のときは  $x = 0, y = 0$  となり,  $f$  の不動点の集合は 1 点  $(0, 0)$  になる。

$a = 0$  のときは  $y = -x$  となり,  $f$  の不動点の集合は, 直線  $y = -x$  になる。

よって, 求める行列  $B$  は

$$B = \begin{pmatrix} \frac{1}{2} & -\frac{1}{2} \\ -\frac{1}{2} & \frac{1}{2} \end{pmatrix}, \begin{pmatrix} 0 & -1 \\ -1 & 0 \end{pmatrix}$$